

大台ヶ原～古道 尾鷲道山行報告

【山城】 台高山系 尾鷲道

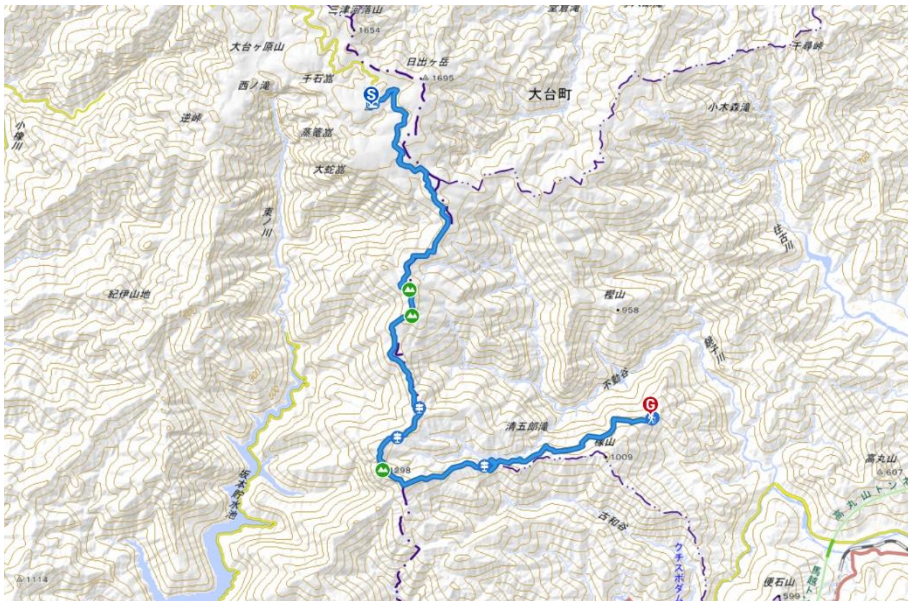
【日時】 2021年5月3(月)

【天候】 快晴

【メンバー】 U屋・M元・M西・I藤・M本(報告)

【コースタイム】 総行動時間8時間33分 休憩時間1時間50分 歩行時間6時間43分
距離17.8km 上り952m/下り1797m(累計)

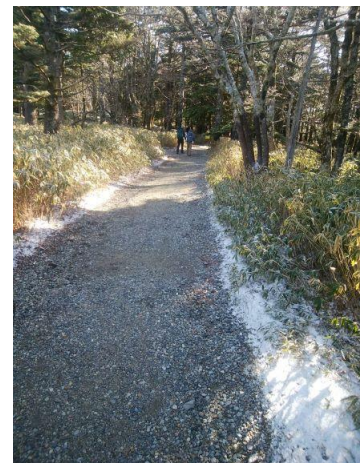
大台ヶ原ビジターセンター(7:30)～尾鷲辻(8:07)～白サコ(9:00)～地倉山(10:10)
～コブシ峰(10:30)～一本木(11:00)～木組峠(11:40/12:15)ランチタイム
新木組峠(12:40)～中の嶺(13:20)～竜辻(1:55)～地蔵峠(14:42)～水無峠着(16:00)



【概要】昨年来よりの願望であった尾鷲道をOne dayで歩くという計画に至ったことだけで、わくわくする思いで大台に向かう。まず驚いたことにビジターセンター手前あたりの道路わきの木々が白く霧氷のついた雪景色であったことだ。昨日は気候不安定で榛原の地では雹や雨が降ったが、大台は雪が降ったのであろう。

駐車場はほぼ満車で、若者やファミリー層等結構な人出である。ドライバーをかってでて下さったU氏に待ち合わせ場所の確認をし、歩き始める。

前日の悪天候の為に尾鷲辻までの道にわずかだが積雪がみられ、晴天ながら風が強く体感温度-2℃位、春のハイキングのつもりが寒く山の気候の厳しさを再認識する。白サコを超えたあたりから、シャクナゲの花が見え始め8部咲き位の濃いピンクの蕾や花々や芽吹き始めた新緑に心を癒されながら歩く。





雷峠の標識を確認しつつも、なんとなくそのまま南に進みそうになるのをこらえ、コンパスを合わせ、これより東に 90 度ほど向きを変えてガレた急斜面を登り地倉山に到着。360 度の大展望で、はるか西方面に白いものが見える。雪渓かとも思ったが、おそらく東の滝であろうとの先輩の説明を受け、山座同定等をして景色を楽しむ。

一本木から木組峠の間には山抜け（崩壊地）があるが、う回路が設けられており特に問題なく歩く。しかし油断禁物、コンパスとGPSで現在地を確認しつつ歩く。

木組峠でランチタイム。風も治まりこちよい春の日差しのなか、至福のひと時である。

新木組峠で尾根道を取るか、巻き道を取るか迷うが、巻き道を歩いた経験のある先輩から「うっそうとした変化のない林の中を歩くだけで面白くない」と



の意見で、尾根道を取ることにする。この稜線ルートは竜辻・中



の嶺登山道、松浦武四郎ルートと標識に記載されており、故人の偉業・健脚ぶりをしのぶ道…しかし、故人の偉業をしのぶどころか自分の軟弱さを痛感する道で、細又谷の頭・中の嶺・竜辻と、三つのピークを越えないとならない。今までの

尾鷲道とは異なるアップダウン・痩せ尾根の連続の中々のコース。ハードさを好む自分にとっては楽しい道、さらに道脇にはアカヤシオの花がちょうど満開を迎えており、奈良の白髭岳によく似た尾根道である。細又谷の頭手前から後ろを振り返ると、大峰山系が一望でき、なんと東の滝・中の滝・西の滝の 3 つの滝が見えるではないか！手前には竜口尾根が南北に延び、次回はこの竜口尾根を歩きたいと思った。中の嶺（P1297）からは、尾鷲の街並みや海に浮かぶ船がはっきり見え、絶景と共に、山から海に抜けた！という実感を味わうことができる、お勧めコースである。

地蔵峠からは林道歩き。落石が多いのか、両脇に小石が散らばっており、道幅はあるものの大峰への登山道までの林道と変わらない悪路である。約 1 時間林道歩きをして水無峠に到着すると、U 氏の迎えの車が見えホッとす。U 氏は熊野古道伊勢路歩きで時間をつぶして下さった。冷たい牛乳とコーンフレークのおやつを準備してくださっての出迎いで、ありがたのどを潤し帰路に就く。

このような大変な送迎をかってでて下さった U 氏、お世話くださった諸先輩方有難うございました。



細又谷の頭から竜口尾根と背後の釈迦岳を望む